

利用者（修了生採用事業主）の声：離職者訓練

景山産業株式会社 常務 景山 拓 様

当社は、鉄道車両用板金部品製造を行っており、新幹線車両を含む高速鉄道車両を中心に、アルミニウム材のレーザ切断、曲げ、溶接加工・プレス等の精密板金加工をしている企業です。「熱意・誠意・創意」を企業理念とし、高品質・低価格な製品を提供してお客様に満足していただけるよう、技術の向上に力を入れ、社員一丸となって日々尽力しています。

広島センターの修了生は、未経験者と比べて、仕事に必要な金属加工関連の資格や基礎技能、知識を習得し、ものづくりの基礎も訓練で学んでいるので、ものづくりに対する興味、やる気を持っている人が多く、短期間で戦力となって頑張っている。

現在、当社で働いている広島センター修了生は7名いて、仕事に積極的に取組、レーザ加工・CAD・曲げ加工・溶接等、さまざまな作業で活躍しています。

2015年5月には金属加工科デュアル訓練生（女性）の企業実習を受け入れました。訓練生の働きぶり、人柄が直接見え、仕事を通して成長が見られることが良いと感じています。今後も企業実習を受け入れ、若い人材を育成したいです。



利用者（修了生）の声：離職者訓練

金属加工科（企業実習付）修了生（平成27年6月修了）

私は前職で、製造関連企業で部品検査の仕事をしていました。以前の職場では溶接作業があったが、経験もなく女性ということで溶接をやる機会を与えてもらえず、どうしても‘溶接’の仕事をしたくて、ポリテクセンター金属加工科（企業実習付）の入所を決めました。

企業実習付訓練に決めた理由は、溶接職種で就職活動をしなくても、経験もなく女性ということで、なかなか採用されず企業実習で自分の熱意・姿勢を見てもらうことで、採用していただける可能性があると思い、訓練を受けるなら絶対に企業実習付との思いがありました。

実際に企業実習では新幹線車両等の床周り部材、内装部材等のアルミニウム材の TIG 溶接をさせていただきました。ポリテクセンターでもアルミ溶接の練習はしたが、製品の溶接なので、ミスはできないと緊張はしましたが、訓練で基本を習得できたおかげで溶接の良い悪いが判断できるので、役に立ちました。企業実習先の景山産業株式会社に入社することができ、念願だった溶接の仕事をさせていただいています。

金属加工科修了後も、ポリテクセンターの能力開発セミナー「軽金属の溶接」を受講し、アルミ溶接訓練を行い、アルミニウム溶接検定を受験しました。

今後の目標は、お客様に満足していただける製品を作るために、技能を向上させ各種資格取得、溶接コンクールにも参加してみたいです。

今後もっとポリテクセンター修了生で‘溶接女子’が増えることを期待しています。

